登録ID	演題番号	演題名	発表日時
101	P-29	ランブル鞭毛虫から検出された５種類のRNAウイルス	
102	2C-16	熱帯熱マラリア原虫生殖母体期の原虫タンパク質輸送におけるSBP1の機能解析	31日 14:10-15:10
103	P-10	十和田市周辺のツキノワグマにおける糸状虫の感染状況	
104	2C-24	酵母細胞質型ジヒドロオロト酸脱水素酵素遺伝子を導入したげっ歯類マラリア原虫のアトバコン耐性発現パターンの解析	31日 15:20-16:20
105	P-11	Classification of the Mekong basin snail *Lacunopsis harmandi* based on Histone-3 gene	
106	P-39	*Anopheles stephensi*の腸内細菌による卵成熟抑制の機序解明に向けた検討	
107	2D-08	ネオスポラ感染に対するケモカイン受容体CXCR3の感染防御機構への関与	31日 10:00-11:00
108	P-12	ご遺体より収集した新潟県におけるウジ種の形態学的分類	
109	P-13	北海道における法医昆虫類の形態学的分類	
110	1A-04	ニッポンサシチョウバエにおける共生細菌ボルバキアとリケッチアの感染状況	30日 14:00-15:12
111	2B-17	Genetic taxonomy of genus <i>Chilomastix</i>	31日 14:10-15:10
112	P-40	Anisakis-specific IgE production is associated with gastric bacteria	
113	2B-16	Molecular screening on minor intestinal protozoan parasites in Sumba Island, Indonesia	31日 14:10-15:10
114	2A-21	ウイルスベクターよりなる熱帯熱-三日熱マラリア2価ワクチンの開発と有効性の検証	31日 15:08-16:20
115	P-14	北海道アポイ岳の登山道におけるオオトゲチマダニ Haemaphysalis megaspinosaの遺伝的多様性と集団構造	
116	2A-19	熱帯熱マラリアワクチンLC16m8Δ/AAV-Pf(s25-CSP)のエピトープ変異原虫に対する感染防御効果の評価（マウスモデル）	31日 14:00-15:00
117	2A-05	ヒストン修飾酵素阻害剤を用いた抗マラリア原虫効果とその分子基盤の解明	31日 8:50-9:50
118	2C-05	ウガンダ北部における熱帯熱マラリア原虫アルテミシニン感受性調査	31日 8:50-9:50
119	P-50	流動パラフィンを用いた寄生虫プレパラートの長期保存化の試み	
120	P-30	Chromosome dynamics related to sex determination in the thread worm *Strongyloides ratti*	
121	2A-12	新規ビオチン化酵素AirIDを用いたマラリア原虫のタンパク質インタラクトーム解析	31日 11:10-12:10
122	2A-07	Challenges in isolation of mitochondrial ribosomes from the malaria parasite	31日 10:00-11:00
123	P-31	ネズミマラリア原虫*Plasmodium yoelii* EBL領域6における感染性についての解析	
124	2C-14	兵庫県明石市沿岸産のテナガダコから得られた大型の未成熟線虫について	31日 11:10-12:10
125	1A-06	<i>Strongyluris calotis</i>の宿主スウィンホーキノボリトカゲ消化管内における寄生分布と発育	30日 14:00-15:12
126	P-51	日本住血吸虫感染動物血清中のHRP反応因子	
127	P-15	*Babesia caballi*の全ゲノム配列解析	
128	2A-24	皮内スポロゾイトを標的としたPfCSP抗体による感染阻止効果評価系の確立 -ヒトマラリア型CSP発現ネズミマラリア原虫の作出-	31日 15:08-16:20
129	P-32	赤血球期マラリア原虫におけるRON3タンパク質の機能解析	
130	1C-02	マラリア原虫スポロゾイトにおけるRAMAの役割の解析	30日 14:00-15:12
131	2B-03	改変型<i>Bst</i> DNA polymeraseとMolecular Beaconを用いた迅速かつ高精度なアフリカトリパノソーマ症診断LAMP法の開発改変型	31日 8:50-9:38
132	2C-11	<i>Fasciola</i> 属を識別するための<i>FABP type I</i>遺伝子に基づくMultiplex PCR法の開発	31日 11:10-12:10
133	2A-26	<i>centrin</i> gene-deleted <i>Leishmania</i> vaccine candidate: early and late surrogate markers of immunogenicity	31日 15:08-16:20
134	2B-08	Nitroreductaseと蛍光プローブを用いた新規マラリア原虫High-throughput screening系の確立	31日 10:00-11:00
135	2C-06	日本における土壌伝播蠕虫感染状況調査および鞭虫症感染源の検討	31日 10:00-11:00
136	P-16	日本における肺吸虫症の過去22年間の変化	
137	P-17	Classification of the Mekong basin snail *Filopaludina martensi* based on Histone-3 gene	
138	2C-23	マラリア原虫・肝臓内休眠体ステージの解析を目的とした可視化原虫株の開発（2） ～可視化原虫株のサル体内における動態について～	31日 15:20-16:20
139	P-33	発現開始点からの距離依存性を活用したトキソプラズマ原虫のコアプロモーター因子発見手法の提案	
140	2B-19	熱帯熱マラリア原虫<i>surface-associated interspersed gene (surf) 13.1</i> 遺伝子に対する強い平衡選択圧について	31日 15:20-16:08
141	2D-02	<i>Plasmodium berghei</i>の184 kDaのタンパク質のC末端領域ペプチドはオーカイネートの形成を抑制する	31日 8:50-9:38
142	2B-07	三種の酸化鉄ナノ粒子を用いた抗トキソプラズマ効果の解析	31日 10:00-11:00
143	P-52	日本寄生虫学会の医療関係者向けコンサルテーションについて	
144	2C-25	Characterization of the mutant with the reduced susceptibility to piperaquine from rodent malaria parasite, <i>Plasmodium berghei</i> mutator.	31日 15:20-16:20
145	2A-04	マラリア原虫におけるヒストンH3バリアントの生物学的意義の解明	31日 8:50-9:50
146	P-41	寄生蠕虫による液性免疫抑制は抗関節炎効果に寄与しているか？	
147	2A-25	GMP準拠PfRipr5抗原を用いた赤血球期マラリアワクチン効果の検討	31日 15:08-16:20
148	1B-02	トキソプラズマ感染はCOVID-19の罹患リスクになりうるか	30日 14:00-15:00
149	P-53	細胞性粘菌（*Dictyostelium discoideum*）柄細胞分化誘導因子を用いた新規誘導体の抗マラリア活性	
150	P-18	バヌアツ共和国のアネイチュム島における三日熱マラリア再発の原因を探る	